

国際的標準プログラム パネルディスカッション

大学の国際化をどう進めるべきか ～ 教育の質保証を中心として～

日 時 平成22年6月18日(金) 14:30～16:30

場 所 豊橋技術科学大学 講義棟 A1 - 201 講義室

地球環境保全など世界各国の技術者が共同で取り組むべき課題の増加や、企業の世界展開などで、技術者が取り組む課題や職場環境のグローバル化が急速に進んでいます。技術者を育てる大学においても、学生の国際的流動化に対応した教育の質の国際的な保証に向けた動きが進んでいます。ヨーロッパ高等教育圏建設に向けたボローニャプロセスが進行する中で、我国も留学生30万人計画など、国内の多くの大学で国際化の新しい取り組みが進められています。

本パネルディスカッションでは本学が4年間の予定で実施中の「国際的標準として認知される工学プログラムの開発 - 欧米諸国工学系大学を超える工学教育プログラムの構築 - 」プロジェクトの一環として、昨年度に実施した国内外の大学における教育の質保証と国際化に関する調査を基に、本学が今後構築を目指す国際的標準として認知される新しい工学教育プログラムについて議論を深めたいと思います。

< プ ロ グ ラ ム >

14:30-14:40	総合司会 : 竹市 力 学長挨拶 : 榊 佳之 プログラム趣旨説明 : 竹市 力
14:40-16:25	パネルディスカッション ディスカッションリーダー : 梅本 実 ・ 大学教育の国際化 ・ 教育の質の保証 ・ 留学生 (海外事務所、特別英語コース) ・ 今後の活動計画
16:25-16:30	閉会挨拶 : 神野 清勝